

# 魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議  
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

## 1 平成 24 年度「地域コーディネーター研修会」の報告について

- ・ 標記研修会(市生涯学習課、魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催)が、平成 24 年 9 月 28 日に市教育センターで、53 名の関係者の方の参加を得て開催されました。
- ・ 当日は、主に新任者や経験の浅い地域コーディネーターを対象に、先輩地域コーディネーターによる活動事例紹介、活動の工夫を共有する情報交換会を通して、活動を円滑に進めるためのスキルを学ぶとともに、地域コーディネーターの役割を再確認したところです。
- ・ 当日参加できた地域コーディネーターの方には、研修会を振り返るキッカケにするために、参加できなかった方には、今後の活動の参考にしてもらうために、また、地域協議会会長や委員、教職員の方には、地域コーディネーターの活動内容を知っていただくため、研修会の様子をお知らせします。

### 第 1 部 事業説明「魅力ある学校づくり地域協議会と地域コーディネーターの役割」

宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課 主任 横山靖夫

- 魅力ある学校づくり地域協議会の活動の意義は、地域の大人が「ナナメの関係」を生かした多様な人間関係の中で、地域の子どもたちを心豊かでたくましく育てることであり、各々の地域協議会で、地域の子育てについて話し合い、更にその話し合いを受けて地域ぐるみの活動を実践することです。（「ナナメの関係」について詳しくは本通信の前号をご覧ください。）
- 地域協議会の活動（①活力ある学校づくりへの参画、②地域の教育力を生かした学校教育の充実、③地域ぐるみでの児童生徒の健全育成・安全確保、④学校施設や地域の教育資源を生かした家庭・地域の教育力向上）と、活動ごとに地域コーディネーターが担う連絡調整の役割を再確認しました。

### 第 2 部 活動事例紹介

#### 西原小学校 地域コーディネーター 佐藤明美 氏（学校支援ボランティアと学校との関わり方）

○学校支援ボランティア登録の際に興味も聞いている。「教えられる分野」を聞くよりも、「趣味」を聞いた方が気構えないで教えてくれる。新たな活動分野で学校の要望があるときには、趣味を参考に声をかけられる。

○地域コーディネーター活動は学校の要望があって初めて生きるものであり、校長、副校長、教務との日常的な連携が不可欠であり、職員室への顔出しが大切である。

○学校支援ボランティア同士の情報交換会と反省会を開催している。ボランティア同士の顔が繋がりに、新たな活動に結びつくとともに、やりがいを感じる場になっている。



#### 陽東小学校 地域コーディネーター 今井智子 氏（学校支援ボランティアの活動とその調整）

○昼間忙しい教職員との連絡調整には、放課後の時間を活用するようにしている。また、日常的な連絡調整を図るため、職員室に連絡ポストを設置している。

○学校支援ボランティアの活動があるときには、担当の教職員が休み時間などに時間をみつけて、ボランティア室にあいさつに来ている。

○コーディネーターの活動に答えはないと思う。地域やコーディネーターの状況に応じながら、地域の特徴や人材を生かして、活動自体を皆で楽しむのが長続きの秘訣と考える。活動で困ったときには、各学校の担当の教職員に相談するといいアイデアをもらえる。

### **晃宝小学校 地域コーディネーター 戸部浩子 氏（コーディネーター活動で心がけていること）**

○子どもの家指導員と民生委員児童委員も兼任している。同じ子どもでも、放課後に「子どもの家」で過ごすときと学校で過ごすときの表情の違いがあることに気づく。

○学校支援ボランティア活動は長く続けることで、子どもの成長を感じ、地域ぐるみで子どもを育てることについて考えるキッカケになっている。活動を通して地域の教育力が向上し、その向上した教育力を学校教育の中に更に還元できており、地域内でいい循環ができています。

○地域コーディネーターが2人配置されていると、相談しながら活動できるし、お互いの得意分野、人脈を補完し合えるので、1人でなく2人の方が円滑に、そして楽しく活動することができる。

### **晃宝小学校 地域コーディネーター 伊藤三千代 氏（地域コーディネーター活動を始める人へ）**

○コーディネーターの活動にあたり、自分のときにこんな学校だったら楽しかった、良かったと思うことを学校に提案し、学校からもこんな支援ができないかと提案される。その提案を実現するために学校と地域の連絡調整を行っており、活動を通して新しい仲間やつながりをつくる楽しさがある。

○地域コーディネーターの後継者を育成するために、ボランティア活動の参加者をスタッフとして活動に巻き込んでいる。また、自分自身があまり活発に活動しすぎると「あんなに活動できない」と萎縮してしまうので、自分が楽しめる範囲のことを無理なく活動している。

○地域協議会の活動を通して、保護者が自分の子どもに加え地域の子どもの育ちにも関心を持ち、保護者ではなく地域全体のことを考える「地域の大人」になる。更に、地域ぐるみで育てられた子どもが「地域の大人」になる、そんな循環ができれば、地域全体が楽しくなると思う。

## **第3部 情報交換会**

「地域コーディネーターの活動時に工夫していること」をテーマに、下記の3つの課題について、情報交換を行いました。グループ協議の中での主な意見・工夫を紹介します。

### **○活動に適したボランティア探し**

- ・ 回覧板での周知に併せた個別の声かけ
- ・ 年度末活動時に次年度のチラシ配布
- ・ おやじの会など地域団体との連携
- ・ 地域学校園内での人材・情報の共有
- ・ 地域協議会委員の増員（人脈の広がり）



### **○保護者や地域住民へのPR**

- ・ 学校の様子を知り、身近に感じてもらうこと
- ・ 協議会だより作成・配布（地域コーディネーター紹介、PTA向けと地域向けを分けて作成 など）
- ・ 地域の方が参加できる周知イベント・活動（昔遊び、ふれあい給食、小中学生の交流 など）

### **○多忙な教職員との打ち合わせ**

- ・ ボランティア依頼書・ホワイトボード・連絡ボックスの活用、職員室への顔出し、夕方の時間の活用

## **2 お知らせ**

○平成24年度 地域はみんなの学校フォーラムの開催について

日 時：平成24年11月2日（金）14:30～16:30

場 所：宇都宮市東生涯学習センター コミュニティホール

内 容：事業説明：地域学校園の趣旨と地域学校園協議会の役割

（予定）パネルディスカッション：「地域はみんなの学校」を目指して

対 象：地域協議会代表 地域コーディネーター 学校長 小中一貫教育推進主任 など